

小学部 5・6年生 図画工作 年間計画

【3段階】

指導内容	単元名（仮）
<p>A 表現 <b>生活単元学習</b>  <b>ア 日常生活の出来事や思ったことを基に絵をかいたり、作品をつくったりする活動</b>                      (ア)材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこと。                      (イ) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくったりする。</p>	<p>5年生                      絵                      「たのしかったよ ドキドキしたよ」(クレヨン、ペン、絵の具)                      工作                      「おとづくり フレンズ」(はさみ、ボンド、テープ類)                      造形遊び                      「つないで つるして」(のり、セロハンテープ、紙類)                      立体                      「ともだち ハウス」(クレヨン、ペン、はさみ、のり、ボンド等)                      鑑賞                      「いろいろ みえかた むげんだい」(カラーセロハン)</p>
<p>B 鑑賞 <b>生活単元学習</b> <b>日常生活の指導</b>  <b>ア 自分たちの作品や身の回りにおける作品などを鑑賞する活動</b>                      (ア)自分たちの作品や、日常生活の中にあるものなどの形や色、表し方の面白さなどについて、感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。</p>	<p>6年生                      絵                      「たのしく うつして」(クレヨン、はさみ、カッターナイフ等)                      工作                      「パタパタ ストロー」(ペン、はさみ、セロハンテープ等)                      造形遊び                      「クミクミックス」(段ボール、段ボールカッター等)                      立体                      「おもいでを かたち」(粘土)                      鑑賞                      「ともだち みつけた！」(自然観察:クレヨン、色鉛筆等)</p>
<p>共通事項  <b>ア 「A表現」及び「B鑑賞」</b>                      (ア)自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くこと。                      (イ)形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。</p>	<p>共通事項については、「A表現」及び「B鑑賞」となっていることから、次のような活動も参考にしていくようにする。                      ○作品の展示や掲示をとおして、みんなでつくった作品を鑑賞する機会を設けるようにする。                      ○いろいろな素材に触れて感じたことを表現すること(例:土、水、氷、葉、石等)                      ○いろいろな材料や用具を活用すること                      (例:生活に身近なものを材料として使用すること。葉や石、小枝、段ボールやストロー)                      (クレヨン、色鉛筆、絵の具、はさみ、のり、セロハンテープや両面テープ等)                      ○形や色に関すること                      (例:扇風機は丸、止まれの標識は三角、レンガは四角など生活に身近なものの形に触れる)                      (例:生活に身近なものを並べて、見えてくる形や色について触れる)                      (例:イチゴは赤色、バナナは黄色、ピーマンは緑色など生活に身近なものの色に触れる)                      (例:透明な素材の色の変化について触れる)</p>